

市町村との意見交換会の概要

資料 3

平成 30 年 1 月 13 日
本部事務局地方分権対策課

■日 時	平成 29 年 12 月 21 日 (木) 15:30~17:21
■場 所	大阪府立国際会議場 12 階 特別会議場
■出席者	別紙名簿のとおり
■内 容	1 関西広域連合の取組について ・平成 30 年度事業・予算案について 2 関西全体の共通課題等について ・「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」に向けて ・「2025 日本万国博覧会」に係る誘致活動について ・女性の活躍推進について 3 意見交換

1 連合長及び各委員等から「関西広域連合の取組」及び「関西全体の共通課題等」について説明

2 意見交換における主な発言概要 ○市町村長からの意見 ◆広域連合からの回答

「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」について

(周辺地域の周遊)

○ 和田 大阪府忠岡町長

- ・ WMG2021 関西の開催で、国内外からの多数の参加者や同行者による大きな経済効果が期待できる。忠岡町には水墨画収集で優れた正木美術館があるなど、関空の地元には豊かな観光資源がある。泉州地域では、3 市で競技が開催される。泉州 9 市 4 町では、地域連携DMO設立の準備をしており、周辺地域を巡り、滞在していただけるよう、協力しながら泉州の魅力を発信していきたい。

○ 石田 鳥取県倉吉市長

- ・ WMG2021 関西では、鳥取県では 4 競技、全体では公式競技 32 競技 55 種目が実施されるので、アクセスしやすいよう ONE PASS など行動しやすい仕組みを作り、地域資源を活かした観光に結びつけてはどうか。地域のDMOを関西全体のDMOとネットワークさせるなど、大きな観光ネットワークの視点により、WMG2021 関西の波及効果を考えていただきたい。

◆ 井戸連合長

- ・ 選手はもちろん同行家族のツーリズムも念頭におきたい。WMG の趣旨にも叶うよう、特に外国人には、関西各地を巡っていただきたく、例えば、鳥取であれば、→山陰海岸→京都→関空など開催地ごとのモデルコースを作りたい。
- ・ 同行者、滞在日数を考えると経済波及効果は相当大きい。いかに関西を回っていただき、おもてなしをしながら振興につなげることが重要である。準備は多分野にわたるが、ご指導・ご協力をお願いしたい。

(用具の運搬)

○ 佐々木 京都府南丹市長

- ・ 折りたたみ式自転車であれば電車に乗れるが、スポーツ用自転車は自家用車で運ぶ必要がある。公共交通機関に持ち込みを可能とするよう要請していただけないか。自転車ブームであることから、サイクルトレインを検討していただきたい。

◆ 井戸連合長

- ・ 人々の交通手段の確保だけでなく、競技道具の運搬手段の仕組みも十分検討していきたい。

(知名度向上)

○ 佐々木 京都府南丹市長

- ・ WMG2021 関西の知名度不足が危惧されている。市町村では競技団体や各府県と連携していく必要があり、中核となる関西広域連合でも啓発活動に尽力願いたい。

◆ 井戸連合長

- ・ WMG2021 関西の一昨年の知名度は、ラグビーワールドカップの半分の 10% ぐらいであったが、開催は 4 年先であり、追い越せる。2019 年、2020 年、2021 年と 3 年連続で大きな世界大会がある。万博とも関連づけながら盛り上げていきたい。

「2025 日本万国博覧会」に係る誘致活動について

○ 阪口 大阪府高石市長

- ・ 万博誘致については、大阪府市長会としても全力をあげてやっていきたい。署名運動は、市民にも評判がよく、参加意欲が高まる。

◆ 吉村委員

- ・ 万博開催が決定すれば、WMG2021 関西ともコラボでき、知名度アップにも繋がると思う。また、WMG2021 関西の参加者は健康な高齢者であり、健康関連のビジネスにもつながる。「いのち輝く未来社会のデザイン」という抽象的なテーマであるが、具体的な取組は、タッグを組んでやりたい。
- ・ 大阪市では、職員に対して役所のパソコンを使って会員登録をしてもよいこととしたところ相当効果があった。万博開催により、色々と盛り上げ、波及効果が及ぶようにしたい。

広域観光・文化・スポーツ振興について

○ 阪口 大阪府高石市長

- ・ 先週、関空協の要望で石井国交大臣とお会いしたが、関空の頑張りを喜んでおられた。東日本大震災後に比べ、関空の訪日客は 4 倍に伸びているが、成田・羽田は 2 倍。いかに関空が伸びているかがわかる。インバウンドの好機到来である。
- ・ 中部国際空港を中心に「昇竜道」という観光コースが作られている。比叡山延暦寺まで入っており、これが本当に中部地方なのか疑問である。一方、関西には、昭和 2 年の毎日新聞（別途配布）からわかるように、ありとあらゆる街道が歴史的に存在する。本家の関西が歴史的に根拠のない“何でもあり”の街道に負けてはならない。観光税のほとんど（約 400 億円）が DMO に使われると聞いている。堺泉北臨海工業地帯のコンビナートの夜景も想像を超える人気がある。「美の伝説」を実施していることは理解しているが、ありとあらゆる潜在的な観光資源を発掘・活用していく必要がある。

◆ 山田委員

- ・ 観光振興の好機到来と同時に問題もある。訪日客は 2,800 万人まで増えたが、大阪、京都に集中するという格差問題や民泊や白タク、住民とのトラブルといった安心・安全の点からの大きな問題が生じている。
- ・ 関西には世界遺産も日本遺産もたくさんあり、「美の伝説」の周遊をしてもらうことで格差をなくしたい。民泊については、京都市では厳しく、京都市近郊では推奨とバランスをとり、民泊悪論ではなく、うまく活用していきたい。
- ・ WMG2021 関西の開催にあたっては、関西全体を受け皿とし、多言語化、コールセンターの整備など環境基盤を整え対応したい。
- ・ 訪日客が 2,800 万人にもなると客層も幅広く、来る方法も様々、観光ルートも従来のゴールデンルートだけではなく、情報も SNS やインスタから得るなど、多様性にどのように対応するかが課題である。関西観光本部は、広域連携 DMO であり、好機を逃さず、また、スポーツ観光、医療観光など体験型観光にも取り組みたい。

◆ 竹山委員

- ・ 関空利用の訪日客は泉州地域を素通りしており、来年4月に「泉州観光DMO（仮称）」を設立する。WMG2021 関西では、堺市でサッカーとフットサルが開催され6,000人、うち2,400人の外国人が参加し、同行者とあわせ1万人近くが泉州を周遊する。仁徳天皇陵古墳、岸和田城、お祭りなどセットで売り出す「泉州周遊ルート」を創設し、泉州を巡り、泉州全体で泊まっていただく。環境、健康問題ともコミットし、関空をキーステーションとした自転車を使った関西一円の周遊ルートづくりは、地域DMOとも連携してやっていきたい。

広域防災について

○ 石田 鳥取県倉吉市長

- ・ 鳥取県中部地震に対する関西広域連合等の支援に対するお礼

◆ 飯泉委員

- ・ 鳥取県市長会と徳島県内8市は「鳥取県市長会と徳島県市長会の災害時相互応援協定」を締結し、中国・四国9県においてカウンターパート制を常設化している。
- ・ 熊本地震以降は、震度6弱以上で駆けつけるプッシュ型に改正し、鳥取県中部地震では発災17分で出動した。家屋調査も翌日から行い、熊本地震では罹災証明の発行に2ヶ月以上要したが、1次審査を1月以内に終えることができた。

広域医療について

○ 佐々木 京都府南丹市長

- ・ ドクターヘリの充実に心から感謝申し上げる。

◆ 飯泉委員

- ・ ドクターヘリ7機体制により、平時の二重、三重のセーフティネットはもちろん、災害時にも守備力が強化される。これからも効果的な対応体制を構築していきたい。

広域環境保全について

○ 福井 徳島県牟岐町長

- ・ 海は磯焼けでサザエ、バイ貝などが減少し、漁業者の世帯収入は大幅減である。地方創生には交流人口の増が必要であるが、仕事が見つからない状況であり、移住者も出て行く。何とか磯焼けを解決したい。磯焼けの原因は、地球温暖化と海水の貧栄養化と言われている。海水の貧栄養化は、山が荒れていることと生活排水が過剰に綺麗になり、養分がないことが原因である。地方の魅力は、豊かな自然と生物多様性である。海を豊かにする取組を関西広域連合の力を借りてやっていきたい。

◆ 井戸連合長

- ・ 磯焼けの問題であるが、山は海の恋人と言われ、山の管理をきちんとすることが大切である。森林環境税の利活用も有効である。山の管理を進めるためには、山の利用、つまりは国産木材の活用が必要。木材チップを活用したバイオマス発電は、CO₂排出削減、環境保全、地域振興と一石三鳥である。このような対応を総合的にやっていく必要がある。
- ・ 兵庫県における播磨灘流域別下水道総合整備計画の変更にあたっては、下水処理場の管理運転を位置づけたい。あわせて藻場の造成など環境整備が重要であり、府県と市町村が力をあわせて事業を実施してはどうか。

市町村との意見交換会 出席者名簿

(関西広域連合)

広域連合長	井戸	敏三	(兵庫県知事)
委員	山田	啓二	(京都府知事)
委員	飯泉	嘉門	(徳島県知事)
委員	吉村	洋文	(大阪市長)
委員	竹山	修身	(堺市長)
副委員	濱田	省司	(大阪府副知事)
副委員	村井	浩	(奈良県副知事)
副委員	植村	哲	(京都市副市長)
	石河	康久	(滋賀県琵琶湖環境部次長)
	宮崎	泉	(和歌山県知事室長)
	伊藤	友昭	(鳥取県関西本部長)

(近畿市長会)

会長	佐々木	稔納	(京都府 南丹市長)
理事	古川	照人	(大阪府 大阪狭山市長)
監事	吉田	弘明	(奈良県 香芝市長)
相談役	阪口	伸六	(大阪府 高石市長)

(近畿府県町村会)

大阪府町村長会	会長	松本	昌親	(大阪府 千早赤阪村長)
大阪府町村長会	副会長	和田	吉衛	(大阪府 忠岡町長)
兵庫県町村会	会長	庵谷	典章	(兵庫県 佐用町長)
奈良県町村会	会長	今中	富夫	(奈良県 上牧町長)

(鳥取県市長会)

副会長	石田	耕太郎	(倉吉市長)
-----	----	-----	--------

(鳥取県町村会)

会長	森安	保	(伯耆町長)
----	----	---	--------

(徳島県町村会)

副会長	福井	雅彦	(牟岐町長)
-----	----	----	--------